

# (申請書記入見本)

※赤枠内は必須項目です

一般建築物・特定建築物（実地研修） 実務経験証明書（様式－2）

氏名	受講番号	1.大学（建築学） 2.短期大学（建築学） 3.高等専門学校（建築学） 4.高等学校（建築学） 5.その他
環境 太郎	98765	学校名
		学部名
		学科名
		卒業年月
		年 月

受講区分1～4の方は  
こちらもご記入ください

勤務先名（部課名まで）	所在地（番地まで）	在職期間と実績年月数（A）※1		地位 職位	職務内容※3		(A)の内、石綿含有建材 調査の実経験年数 ※2	
		○○○○/○形式で入力下さい			該当する実務	その他、実務詳細・特記事項		
株式会社 ●●建設	東京都XX区○○-○○	2010年1月	～	10年5ヶ月	主任	その他	改修工事（空調設備の 工事・修理・保守含む） 施工及び管理	年
株式会社 ▲▲建設	埼玉県XX市○○-○○	2020年7月	～	3年1ヶ月	係長	建築一式・大工工事・建築設 備の施工管理		年
		2023年8月	～					年

その他をご選択の場合は追加で審査  
がございますので、その他の右側に  
詳しい業務内容をご記入ください

受講区分7の方は  
該当する実務に石綿含有建材調査と  
ご記入の上、年数もご記入ください

西暦/月 形式で入力下さい。  
上段：開始～ 下段：終了

計算式上、在職期間の開始はそのまま入力し、終了を翌月にして入力ください。  
(2024年1月1日～2024年10月31日の場合、2024年1月～2024年11月  
と入力、数式の結果は10カ月となります)

職務内容の記載を以下の中から選択し、ご記入ください。  
※厚生労働省の規定となる為、お手数ですが宜しくお願いします。

建築物設計/工事監理/工事指導監督/  
建築一式・大工工事・建築設備の施工管理/内装工事（床・柱・梁・壁等）/  
建築物耐震診断/解体工事の施工管理/建築行政/環境行政/産業安全専門官・  
労働衛生専門官/労働基準監督官/石綿含有建材調査/その他

●一枚で不足する場合は コピーして使用してください	受講資格区分1～6、9、10に該当する方の 実務経験年数の合計	13年	受講資格区分7、8-b、11-a 石綿含有建材の調査に関する
------------------------------	------------------------------------	-----	-----------------------------------

※1 実務年月数について、受講資格区分1～6、9、10の方は（A）のみご記入ください。  
 ※2 実務年月数について、受講資格区分7、8-b、11-a、11-bの方は、（A）および右端の「（A）の内石綿含有建材調査の実務経験年数」までご記入ください。  
 ※3 受講資格区分1～5の方は建築、6に該当する方は建築行政、7、8-b、11-a、11-bの方は石綿含有建材の調査に関する職務内容の選択またはその他の職務内容もご記入してください。

上記の通り相違ないことを証明します。

2023 年 8 月 15 日

住 所 埼玉県XX市○○-○○

現在の所属する機関 株式会社 ▲▲建設

現在の上職の氏名及び印 建設部長 科学 一郎

(所属職位を記載)

※ 過去の実務経験が現在の所属機関と異なる場合でも、現在の上職の印のみで結構です。

上職に実務経験の証明が得られない場合（自身が会社代表である場合等）は、以下に  
理由を記載し、署名・押印してください。

理由： 自身が会社代表であるため  
実務経歴の確認の為に、追加書類の提出等を求められた場合は速やかに提出します。

本人署名： 環境 太郎

※ 代表者自らが受講する場合には、実務経験内容等の証明の根拠として、事務所登録、建設業許可証、会社定款のいずれかの写しなどを添付してください。

代表者以外の方が受講する場合は  
こちらのみご記入ください。  
上職による署名は直筆で、職位も忘れず  
ご記入願います。

代表者自らが受講する場合は  
こちらのみご記入ください。  
本人署名は直筆で、理由も忘れず  
ご記入願います。

氏名	受講番号

受講資格に 該当する 最終学歴	1.大学（建築学） 2.短期大学（建築学） 3.高等専門学校（建築学） 4.高等学校（建築学） 5.その他			
	学校名	学部名	学科名	卒業年月
				年 月

勤務先名（部課名まで）	所在地（番地まで）	在職期間と実績年月数（A）※1 ○○○○/○形式で入力下さい		地位 職位	職務内容※3		(A)の内、石綿含有建材 調査の実経験年数※2
					該当する実務	その他、実務詳細・特記事項	
		～	年 月				年
		～	年 月				年
		～	年 月				年
		～	年 月				年
		～	年 月				年
●一枚で不足する場合は コピーして使用してください	受講資格区分1～6、9、10に該当する方の 実務経験年数の合計		年		受講資格区分7、8-b、11-a、11-bに該当する方の 石綿含有建材の調査に関する実務経験年数の合計		年

※1 実務年月数について、受講資格区分1～6、9、10の方は（A）のみご記入ください。

※2 実務年月数について、受講資格区分7、8-b、11-a、11-bの方は、（A）および右端の「（A）の内石綿含有建材調査の実務経験年数」までご記入ください。

※3 受講資格区分1～5の方は建築、6に該当する方は建築行政、7、8-b、11-a、11-bの方は石綿含有建材の調査に関する職務内容の選択またはその他記入欄に実務詳細等を記入してください。

上記の通り相違ないことを証明します。

年 月 日

住 所

現在の所属する機関

現在のの上職の氏名及び印

（所属職位を記載） 印

※ 過去の実務経験が現在の所属機関と異なる場合でも、現在のの上職の印のみで結構です。

上職に実務経験の証明が得られない場合（自身が会社代表である場合等）は、以下に理由を記載し、署名・押印してください。

理由：

実務経歴の確認の為に、追加書類の提出等を求められた場合は速やかに提出します。

本人署名： 印

※ 代表者自らが受講する場合には、実務経験内容等の証明の根拠として、事務所登録、建設業許可証、会社定款のいずれかの写しなどを添付してください。